

施策番号	1603		
施策名	高齢者を支えるネットワークの推進		
概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために、地域による見守りのネットワークを推進するとともに、生活上の安心・安全と健康の確保に向けたサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

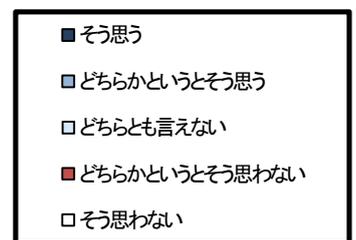
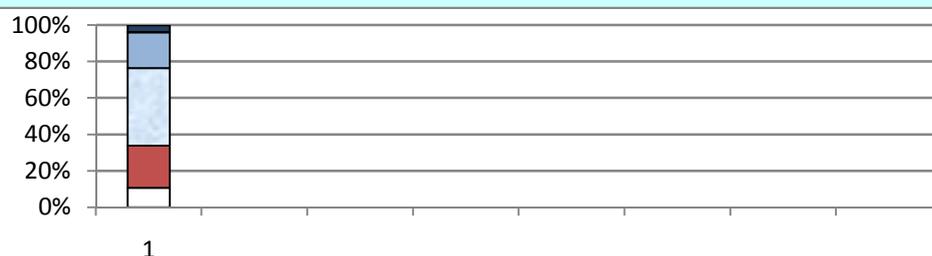
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 老人福祉員訪問者数(人)	-	-	28,203	30,042	28,203	106.5%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心して暮らせるまちになっている。	20 3.8%	104 19.8%	224 42.6%	122 23.2%	56 10.6%	526	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一人暮らしの高齢者等に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標総合評価について、平成22年度に老人福祉員を100人を増員し、高齢者を支えるネットワークの充実を図った結果、訪問者数が過去最高値を上回り、a評価を得た。 ・一方で、市民生活実感評価については、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、老人福祉員の活動など高齢者を地域で見守る取組について、周知を図る必要がある。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	老人福祉員設置事業	37,715	37,469	かなり良い	保健福祉局
2	緊急通報システム事業	246,156	240,505	良い	保健福祉局
3	シルバーハウジング生活援助員派遣事業	2,913	2,914	かなり良い	保健福祉局
4	配食サービス事業	109,806	154,632	普通	保健福祉局
5	地域包括支援センター運営事業	1,063,747	1,123,363	良い	保健福祉局
6	地域包括支援センター運営協議会等事業	90,506	93,328	良い	保健福祉局
7	一人暮らしお年寄り見守りサポーター事業	3,375	6,081	悪い	保健福祉局
8	配食サービス事業(60～64歳)	2,212	2,601	かなり良い	保健福祉局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・高齢化率の上昇や単身世帯の増加を踏まえて、高齢者が地域において安心していつまでも生活できるよう、老人福祉員活動の推進や地域包括支援センターを中心とする地域の様々な社会資源の連携により、今後とも高齢者を支えるネットワークを推進していく。

施策名	1603	高齢者を支えるネットワークの推進									
指標名	老人福祉員訪問者数（人）										
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106								
1 指標の説明											
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度					
数値	28,203	30,042	1,839人増	28,203	過去5年間の最高値	106.5%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新の数値を過去の数値と比較して、 a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：過去5年間の上中間と平均値の間 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値）の間 e：過去5年間の下中間以下		過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：28,203人（平成21年度） 平均値：27,388人 最低値：26,935人（平成18年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>				23	-	-	a
		23									
-	-	a									